

二〇一四フィリピン開発フォーラムにおける内閣総理大臣祝辞（代読）

大統領閣下、フィリピン開発フォーラムに御列席の皆様、

本日のフィリピン開発フォーラムの開催を、心からお慶び申し上げます。

今年三月、フィリピン政府とモロ・イスラム解放戦線（MILF）との間で歴史的な包括的和平合意が調印され、今般、バンサモロ開発計画が発表されたことを心から歓迎いたします。二〇一一年八月のアキノ大統領とムラドMILF議長との成田会談で培われた信頼と対話の姿勢が貫かれ、和平合意、そして本日のフォーラム開催へと結実したことを感慨深く思います。

ミンダナオ和平プロセスは世界各地における様々な平和構築の取組にとって価値ある先例となることが期待されています。日本は、国際協調主義に基づき「積極的平和主義」の旗を掲げ、地域及び国際社会の平和と安定及び繁栄にこれまで以上に積極的に寄与すべく、様々な取組を進めております。ミンダナオ

和平プロセスへの支援はアジアにおけるその具体的な取組の一つです。

日本は、J-BIRDを通じ、人材育成、コミュニティ開発、中期的地域開発等を中心として、これまで百五十億円以上の支援を行ってきました。これまでの取組に加え、今後、日本として、今次フォーラムでの議論も踏まえ、ミンダナオの包括的な成長への支援を強化する用意があることをお伝えします。

ミンダナオの人々を含むフィリピンの全ての人々が平和の恩恵を享受できるよう祈念し、私の挨拶とさせていただきます。

平成二十六年十一月 内閣総理大臣 安倍 晋三